

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議
編集者：代表幹事 高橋賢
連絡先：市民活動支援センタ
尾張旭市渋川町三丁目5番地
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



伊勢
神宮

皇室の祖先をまつる
唯一の「神宮」

正式名称は「神宮」と天照大御神をまつる内宮(皇大神宮)と豊受大御神をまつる外宮(豊受大神宮)から成り、さらに県内の4市2郡にまたがって合計12カ所の摂社や末社所管社があり、これらすべてを指している。

中世には伊勢信仰の伝道師「御師」が登場。その信仰が全国的なものになると、「伊勢講」と呼ばれる参詣集団も生まれた。

戦国時代には一時衰退するも、近世になると伊勢講が新たな活発に。こうして「伊勢参り」は庶民の夢の1つとなる。伊勢参りにあたるは、外宮内宮の順で行なうのが古くからの習わしとされている。

五十鈴川にかかる全長約300mと
言われる宇治橋。
内宮への入口であり
人と神を結ぶ架け橋といわれて
いる。

